



学校だより

平成 30 年度 6 月号
平成 30 年 6 月 1 日
さいたま市立大谷口中学校

[学校教育目標] かしこく 美しく たくましく

己所不欲、勿施於人

Do unto others as you would have others do unto you.

校長 柳澤 登紀男

題字の一行目、「己（おのれ）の欲（ほっ）せざるところ、人に施すこと勿（なか）れ」と読みます。中国春秋時代（紀元前 551 年頃から前 479 年）の学者・思想家の孔子が弟子の子貢に「一生守ることができる徳目はないでしょうか。」と聞かれたときに、「其れ恕か（それは思いやりというものだ）。」に続き答えた言葉です。「自分がして欲しくないことを、人にすべきではない。」という意味です。聞き覚えのある方も多くいらっしゃると思います。

二行目は、聖書の「マタイ伝」からの言葉です。unto は昔の英語で to と同じです。「自分のして欲しいことを、人にすべきである。」という意味です。

簡単なことのようにですが、「果して、自分はこのことを実行できているか」と、いつも自分自身に問いただすようにしています。「一人の人間として、大人として、恥ずべき行動はとっていないか。自己の権利や自分の都合ばかり主張し、他人に目を向けることをしない自分はいないか。私利私欲にはしることなく、人への思いやり、周囲への気遣いができているか。」子どもを教育する立場として、身が引き締まります。

6 月は「いじめ撲滅強化月間」です。本校では、「さいたま市立大谷口中学校いじめ防止基本方針」に基づき、「いじめはどこの学校でも起こり得る」ことを十分認識し、学校全体で組織的に対応し早期発見・早期対応に努めるとともに、未然防止に取り組んでいます。今後も、いじめを許さない環境・風土をつくります。また、生徒同士にとどまらず、一人ひとりが世の中に広く目を向け、差別や偏見なく様々な人への理解と態度をもって行動できるよう、人権意識の高揚を図ってまいります。

そして、生徒が、学校という集団の中で、人との関係において、物事の善悪や人間としてあるべき姿についてしっかりと理解し、自らの正しい判断のもと「かしこく」、優しさや思いやりをもち、心「美しく」、成長していくことを望んでいます。

いじめ撲滅！さいたま宣言

わたしたちのノー！

一、わたしたちは、暴力やいじりなど、人の嫌がることはしません。

一、わたしたちは、SOS を見て見ぬふりをしません。

わたしたちのイエス！

一、わたしたちは、「うれしいこと」を、相手にします。

一、わたしたちは、大人、先生、友達に相談します。

平成26年8月7日採択 さいたま市 子ども会議

私は、「わたしのノー！」を「己所不欲、勿施於人」に、

「わたしのイエス！」を

「Do unto others as you would have others do unto you.」にします。